



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 岡谷電機産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6926 URL <http://www.okayaelec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山田 尚人

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画室長 (氏名) 金丸 昌雄

TEL 03-4544-7000

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,038	10.8	100		98		136	
2020年3月期第2四半期	5,650	17.4	117		161		178	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 82百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 356百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	6.09	
2020年3月期第2四半期	8.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,896	7,091	51.0
2020年3月期	13,999	7,169	51.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,091百万円 2020年3月期 7,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末配当予想については、現時点では未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	92.1	50		50		0		0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想を修正いたしました。詳しくは本日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	22,921,562 株	2020年3月期	22,921,562 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	562,444 株	2020年3月期	571,210 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	22,354,103 株	2020年3月期2Q	22,350,587 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として「株式会社日本カストディ銀行(信託E口)」が保有する当社株式が含まれています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 地域別売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、前年度より引き続き新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞や通商問題の動向をはじめとする様々な懸念が顕在化しており、極めて厳しい情勢が続いています。

当連結会計年度は当社にとって「車載産業への参入」に向けた開発力と生産力の基礎固めの3年間と位置づける第10次中期経営計画の最終年度にあたりますが、前出の諸問題の影響により、まことに遺憾ながら、指標として設定した2020年度目標数値（売上高140億円、営業利益7億円、ROE5.7%、新商品比率30%）の達成は極めて困難な状況にあります。一方で、第3四半期以降におきましては、受注の漸次的な回復を見込んでおり、コスト削減の継続と併せ、着実な受注確保に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間における販売面につきましては、国内においては概ね前年同期並であったものの、海外においては主力分野のひとつであるエアコン向けが大きく減少しました。その結果、売上高は前年同期を下回るものとなりました。エアコン向けの減少については、主に新型コロナウイルスの感染拡大に起因する生産及び経済活動の停滞によるものと分析しております。一方で、前年度大きく落ち込んだ産業機器向けについては、国内・海外ともに前年同期を上回っており、復調は今後も継続するものと想定しております。

なお、利益については、労務費の減少や経費削減等で一定の効果があつたものの、売上減少の影響を強く受け、営業損失及び純損失を計上する結果となりました。

生産・技術面につきましては、前連結会計年度より引き続き、新規設備投資を中期経営計画の要である高品質・安定生産に寄与する案件に絞り込む一方で、将来の事業の柱となる新製品の研究開発活動は計画どおり推進しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は50億38百万円（前年同期比89%）、営業損失は1億0百万円（前年同期は1億17百万円の営業損失）、経常損失は98百万円（前年同期は1億61百万円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億36百万円（前年同期は1億78百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は下記のとおりです。

なお、当社は本年度第1四半期連結会計期間より、事業状況をより正確に分析及び開示するため、報告セグメントを一部変更いたしました。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

コンデンサ製品

海外におけるエアコン向けの減少が大きく影響し、コンデンサ製品の売上高は21億89百万円（前年同期比87%）となりました。

ノイズ・サージ対策製品

産業機器向けについては、国内・海外ともに需要の回復がみられたものの、海外におけるエアコン向けの減少が大きく、ノイズ・サージ対策製品の売上高は19億66百万円（同92%）となりました。

表示・照明製品

産業機器向けにおいて復調の兆しがみられたものの、国内における照明用LEDが大きく減少したため、表示・照明製品の売上高は6億95百万円（同87%）となりました。

センサ製品

国内における時計指針補正用の減少により、センサ製品の売上高は1億86百万円（同89%）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本年9月24日に公表した2021年3月期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,648,110	4,566,574
受取手形及び売掛金	3,383,088	3,185,982
商品及び製品	462,707	623,802
仕掛品	336,034	372,134
原材料及び貯蔵品	571,584	533,939
その他	304,129	291,792
貸倒引当金	△438	△1,200
流動資産合計	9,705,216	9,573,026
固定資産		
有形固定資産	2,778,311	2,647,591
無形固定資産	198,137	204,205
投資その他の資産		
投資有価証券	1,122,248	1,266,577
繰延税金資産	93,216	104,308
その他	234,060	232,002
貸倒引当金	△132,063	△131,463
投資その他の資産合計	1,317,461	1,471,425
固定資産合計	4,293,910	4,323,222
資産合計	13,999,127	13,896,248

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	761,145	764,087
短期借入金	1,099,275	889,593
1年内返済予定の長期借入金	600,000	600,000
リース債務	73,016	77,717
未払法人税等	38,428	34,830
未払金	307,231	265,814
その他	575,809	560,074
流動負債合計	3,454,906	3,192,119
固定負債		
長期借入金	2,250,000	2,450,000
リース債務	65,382	64,670
繰延税金負債	153,612	199,352
再評価に係る繰延税金負債	204,253	204,253
役員株式給付引当金	18,939	15,488
退職給付に係る負債	659,114	656,581
資産除去債務	7,505	7,505
その他	15,492	15,078
固定負債合計	3,374,302	3,612,932
負債合計	6,829,209	6,805,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,295,169	2,295,169
資本剰余金	1,931,556	1,931,556
利益剰余金	2,360,606	2,224,326
自己株式	△192,396	△188,834
株主資本合計	6,394,936	6,262,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	281,633	387,469
繰延ヘッジ損益	△6,721	—
土地再評価差額金	472,765	472,765
為替換算調整勘定	46,102	△15,925
退職給付に係る調整累計額	△18,798	△15,330
その他の包括利益累計額合計	774,982	828,979
純資産合計	7,169,918	7,091,197
負債純資産合計	13,999,127	13,896,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	5,650,319	5,038,448
売上原価	4,469,564	3,888,373
売上総利益	1,180,754	1,150,074
販売費及び一般管理費	1,297,818	1,250,960
営業損失(△)	△117,064	△100,885
営業外収益		
受取利息	12,964	5,389
受取配当金	38,737	42,231
助成金収入	800	16,217
その他	16,623	10,043
営業外収益合計	69,126	73,881
営業外費用		
支払利息	11,685	14,587
為替差損	96,621	29,828
租税公課	—	21,242
その他	4,803	6,087
営業外費用合計	113,110	71,745
経常損失(△)	△161,048	△98,749
特別利益		
投資有価証券売却益	13,514	—
特別利益合計	13,514	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△147,533	△98,749
法人税等	31,427	37,530
四半期純損失(△)	△178,961	△136,280
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△178,961	△136,280

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△178,961	△136,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96,439	105,835
繰延ヘッジ損益	—	6,721
為替換算調整勘定	△79,201	△62,028
退職給付に係る調整額	△1,404	3,468
その他の包括利益合計	△177,045	53,997
四半期包括利益	△356,006	△82,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△356,006	△82,283

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△147,533	△98,749
減価償却費	204,454	162,830
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,811	△2,086
訴訟関連引当金の増減額(△は減少)	△371,993	—
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	△3,451
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,383	317
受取利息及び受取配当金	△51,702	△47,620
支払利息	11,685	14,587
投資有価証券売却損益(△は益)	△13,514	—
売上債権の増減額(△は増加)	835,519	181,019
未収入金の増減額(△は増加)	△7,790	△2,388
たな卸資産の増減額(△は増加)	76,379	△179,034
長期未収入金の増減額(△は増加)	11,480	600
仕入債務の増減額(△は減少)	△35,038	12,912
未払金の増減額(△は減少)	△76,685	△36,875
その他	12,587	88,928
小計	457,275	90,989
利息及び配当金の受取額	51,755	47,403
利息の支払額	△12,015	△14,691
法人税等の支払額	△41,919	△58,408
法人税等の還付額	51,195	13,144
営業活動によるキャッシュ・フロー	506,291	78,437
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△188,670	△57,869
無形固定資産の取得による支出	△17,932	△26,394
投資有価証券の売却による収入	28,581	—
その他の収入	100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177,922	△84,263
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△333,023	△202,104
長期借入れによる収入	700,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△300,000
配当金の支払額	△1,011	△768
リース債務の返済による支出	△16,368	△28,378
自己株式の取得による支出	△29	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	149,567	△31,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,534	△44,446
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	441,401	△81,536
現金及び現金同等物の期首残高	2,240,075	3,648,110
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,681,477	3,566,574

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度末時点の仮定から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンデ ンサ製品	ノイズ ・サージ対 策製品	表示・ 照明製品	センサ 製品			
売上高							
外部顧客への売上高	2,503,340	2,142,160	795,790	209,027	5,650,319	—	5,650,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,503,340	2,142,160	795,790	209,027	5,650,319	—	5,650,319
セグメント利益 又は損失(△)	98,766	210,028	△18,929	23,414	313,279	△430,344	△117,064

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンデ ンサ製品	ノイズ ・サージ対 策製品	表示・ 照明製品	センサ 製品			
売上高							
外部顧客への売上高	2,189,967	1,966,331	695,620	186,528	5,038,448	—	5,038,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,189,967	1,966,331	695,620	186,528	5,038,448	—	5,038,448
セグメント利益	127,594	154,668	16,330	24,827	323,422	△424,307	△100,885

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は第1四半期連結会計期間より、事業状況をより正確に分析及び開示するため、報告セグメントを一部変更いたしました。従来「ノイズ対策製品」の一部であったコンデンサを新たに「コンデンサ製品」とし、同じく「ノイズ対策製品」を構成していたノイズフィルタ及びコイルを、従来の「サージ対策製品」と統合し、「ノイズ・サージ対策製品」としております。

記載した報告セグメントは、いずれも変更後のものであり、前年同期の数値については、旧報告セグメントからの組み替えを行っております。

3. 補足情報

(1) 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

日本	香港	タイ	中国	その他アジア	北米	その他	計
2,641,088	873,983	703,812	505,446	453,778	449,015	23,194	5,650,319
46.7%	15.5%	12.5%	8.9%	8.0%	8.0%	0.4%	100.0%

(注)1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の区分は、主に欧州であります。

3. 比率は構成比であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

日本	香港	タイ	中国	その他アジア	北米	その他	計
2,538,786	750,788	500,245	495,862	430,037	295,276	27,451	5,038,448
50.4%	14.9%	9.9%	9.8%	8.5%	5.9%	0.6%	100.0%

(注)1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の区分は、主に欧州であります。

3. 比率は構成比であります。